

第115期 報告書

2023.1.1-2023.12.31

株主・投資家のみなさまへ

CONTENTS

トップインタビュー	P.1
新企業理念について	P.3
企業理念再整理のプロセス	P.5
コクーンシティ通信	P.7
事業部門の概況	P.9
会社概要・株式の状況	P.10

トップインタビュー

「昨日よりもっと、なくてはならない存在へ。」
新たな企業理念を胸に、お客様、地域、社会から。
愛され、必要とされる企業であり続けることを
目指します。

代表取締役社長 上甲 亮祐

2023年度業績概況

2023年度の連結決算は、医薬品事業において自販化体制への商流切り替えに伴う一時的な販売減からの回復により、前年度対比で増収・増益となりました。

不動産事業では、中核となるコクーンシティ（さいたま新都心）において、テナントの入れ替えや集客イベント等への注力の結果、業績は好調に推移しました。また、繊維事業では、機能的繊維の用途開発や販路拡大などにより、堅調な推移を維持しました。

しかし、医薬品事業においては、毎年薬価改定をはじめとする医療費抑制政策等から、厳しい事業環境が続いています。トーアエイヨーでは、2023年度に希望退職を実施す

るなど、固定費削減に向けた取り組みを進めて参りました。事業環境の厳しさが増す中で、コスト構造のさらなる見直しとともに、将来に向けたビジネスモデルの再構築が必要であると考えております。

構造改革の進行と合わせて、成長に向けた投資も必要であります。新たな事業の柱を築くために、M&Aを含む新規事業への取り組みは継続しています。2023年度には、ITソリューションを提供する「株式会社カクタラ・クロステクノロジー」を買収いたしました。今後も、将来の成長が見込まれる分野や、既存事業とのシナジーが期待できる分野については、積極的にグループへ取り込むことを検討していきます。さらに、構造改革により生じた不動産物件の有効活用についても、具体化を進めていく方針です。

▶▶ 連結財務データ

売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



株主還元方針の見直しについて

当社は、2023年11月に株主還元方針を変更しました。

安定的な配当の実施に努めるとともに、資本効率の向上等を目的として適宜機動的な自己株式取得を実施することとしています。総還元性向に関しては、特殊要因※を除き、親会社株主に帰属する当期純利益の30%程度を目安とします。

※ 一時的な損失や利益計上により、当期純利益が大きく変動する場合は想定しております。

この方針は、「安定的な配当の継続」を基本としながら、業績、財政状態、及び株価水準などを総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を実施するために具体的な水準を設定したものです。

今後、株主の皆様へ末永く応援いただけるよう、適宜株主還元の在り方について検討して参りたいと考えております。

新たな時代に向けて

当社は、2017年頃から構造改革を開始し、多くの変革を進めてきました。

これまでの道のりは決して平坦なものではなく、役員も含む全社員がそれぞれ痛みを伴いながら困難を乗り越えてきました。そして、その過程は現在もお続いております。

しかし、このような厳しい環境を克服する中で、私たちは多くのことを学びました。当社は歴史のある企業ですが、現在は年齢や経験、性別にとらわれず、積極的な行動力や主体性を持つ人材を重要な役割に任命しています。また、風通しの良い職場環境や迅速な仕事の進め方を推奨しています。これらの変化は、荒波の中で、社員自身が“自分のこと”として、会社や、仕事のあり方を、真剣に見直した結果生まれたものです。

そして、このような環境や社内の変化をうけて、当社は企業理念等の見直しを行いました。これは、私たち自身を見つめ直し、共通の方向性を明確にするためのものです。企業理念を単なるスローガンに留めず、日々の行動に反映させるために、「行動指針」というかたちで導入する工夫をいたしました。これらの見直しを社員主導型で行うこととなったのも、構造改革によって生じた前向きな変化の一環と考えております。

新たに策定した企業理念を羅針盤とし、これからの時代を担っていく社員とともに、全てのステークホルダーの皆様にとって必要不可欠な存在であり続けられるよう、努力して参ります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



総資産／純資産

(百万円)



配当金

(円)



当社は、2023年に創業150周年を迎えたことを契機に、 企業理念を刷新し、通称社名の採用・企業ロゴを制作しました。

企業理念について

当社グループが目指すべき方向性を「ミッション」、ミッションを実現するために、大切にすべき考え方を「わたしたちの価値観」として設定いたしました。

Mission ミッション

昨日よりもっと、
なくてはならない存在へ。

Our Values わたしたちの価値観

積み重ねを、楽しもう。

個人の意識

あたりまえこそ、大切に。

どんな仕事も、“あたりまえ”の
積み重ねからできている。

いつだって真剣に。

当事者意識をもって取り組めば、
物事の本質が見えてくる。

一人ひとりの小さな積み重ねが、
やがて大きな違いになる。

個人の行動

良き挑戦者であろう。

良き挑戦は、価値を創造し、
自身を成長させてくれる。
毎日、自分をアップデートして、
前進していこう。

一人ひとりの挑戦が、
会社を成長させるための
原動力となるから。

集団での意識・行動

チームで、最高を叶える。

誰にも尊敬の念を持ち、
本音で語り合う。
その上で、一度決まったら
全員がそれを全うする。
仲間のために、全力で。

一人では実現できないことでも、
みんなの力を積み重ねれば、
成し遂げられるから。

背景

当社は1873年の創業以来、時代とともにかたちを変えながら様々な事業を行って参りました。2023年に創業150周年を迎えたことを契機に、変化の激しい時代の中で、今後の10年、20年先の未来に向けて、私たちが大切にすべきことを改めて明確化し、役員・全従業員の羅針盤とすること、そして、ステークホルダーの皆様と共有化を図るべく、新たに整理したものです。

■ 通称社名の採用について

当社は「カタクラ」を通称社名に採用いたしました。今後、HPや印刷物に積極的に通称社名を使用して参ります。

※なお、正式社名は「片倉工業株式会社」から変更ありません。

コーポレートロゴ

KATAKURA

四角形や線などのシンプルな図形を組み合わせたり積み上げることで、文字が成り立つことを表現したロゴデザインです。

一人ひとりがイキイキと活躍することで、KATAKURAが成り立つ様子を描いています。

コーポレートカラー



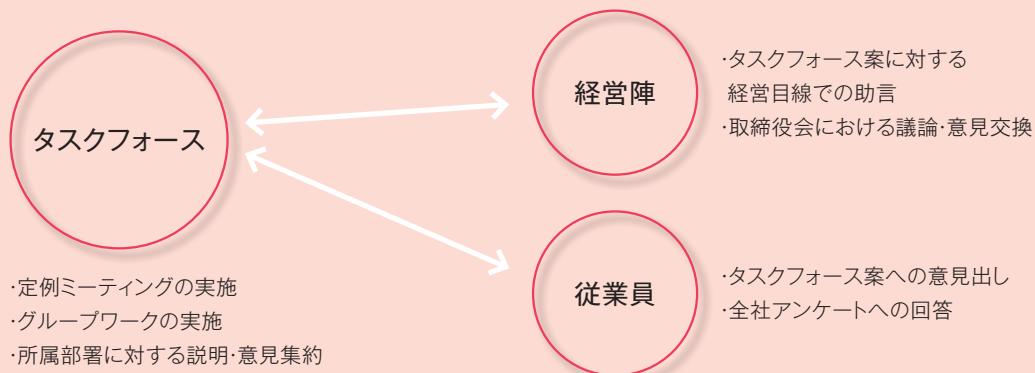
“Integrity Red” (インテグリティ・レッド)

「正しく生きること、事に当たり道理や道義をわきまえて正しい判断、行動をすること」という意味を込めた、“Integrity Red”という名称のカラーでコミュニケーションを展開します。変化を恐れず誠実に挑戦する姿勢、“なくてはならない存在”を目指し続ける情熱、チームや繋がりを感じさせる温かみを、このコーポレートカラーで表現しています。

企業理念再整理のプロセス

今回新たに策定した企業理念は、若手・中堅社員から選抜したメンバーで構成した「企業理念検討タスクフォース」が主体となり、1年間の活動を通じて内容を検討して参りました。様々な部署・世代のメンバーが、それぞれの経験や立場で意見交換し、その内容を取締役に提案、助言を踏まえてブラッシュアップするというプロセスを経て、企業理念は完成いたしました。

体制図



～従業員と経営陣を繋ぐタスクフォースの役割～

▶ TO 従業員

タスクフォースのメンバーが起点となり、自身の所属部署で、検討状況の共有や意見の集約を行いました。従業員それぞれが、会社や所属部署、そしてそこで働く自分たちについて忌憚のない意見や考えを出し合い、想いを伝えることで、私たちの目指すべきもの・守るべきものが少しずつ明確になってきました。

▶ TO 経営陣

タスクフォースは、集約した意見を基に経営陣へ提案いたしました。従業員の想いを受け止めた経営陣は、変わりゆく時代の中で当社が向かうべき方向性やこれからの時代を担っていく人材が何を大切にして欲しいのかを複数回にわたり取締役会の場で議論し、より高い視座で、提案に対する助言やフィードバックを行いました。

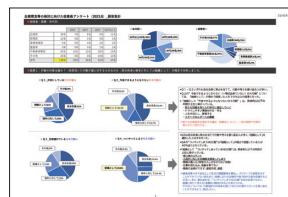
1 部署を越えた仲間との対話

グループワークでは、「年次や部署の違うメンバーと意見を交換することで、お互いの業務の実態や異なる考え方・視点を知ること」、「各々が自分の置かれた現状に向き合うこと」を意識いたしました。将来の外部環境の変化や、当社の経営資源について議論し、それらを踏まえた上で、私たちが今後「守る・繋ぐべきもの」「進化(変化)すべきもの」について意見を出し合いました。



2 一人一人が考え、共通の想いを繋ぐ

タスクフォースで検討した内容を踏まえて、全社員を対象としたアンケートを実施いたしました。アンケートでは、「普段大切にしている・今後できるようになりたいポジティブな行動」、「ついやってしまうネガティブな行動」をヒアリングし、単なる意見集約ではなく、社員それぞれが自分たちの行動を振り返ることができる内容としました。このアンケートにより、従業員が現在大切にしていること・これからも大切にすべきこと、反対に今後改善・伸ばしていきたいことなどの共通の想いや、価値観が見えてきました。そしてこれらの内容は、「行動指針」に反映し、実際の仕事に落とし込めるように工夫しております。



3 仲間とともに～新企業理念発表～

従業員の意見や、経営陣の助言も踏まえて内容のブラッシュアップを繰り返し、最終的に取締役会での承認を経て、企業理念は完成しました。

そして、2023年12月に開催された創業150周年の記念式典において、社長から全従業員に向けて企業理念の発表を行いました。記念式典は、当社の方向性を示すだけでなく、コロナ禍以降初めて全従業員が一堂に会して交流する機会にもなり、会社の一体感や従業員同士の繋がりを感じることでできる貴重な時間となりました。



4 さあ、次のカタクラへ

今回策定した企業理念は、従業員それぞれが正しく内容を理解し、実務に落とし込むことで初めて価値を生むものであると考えています。

そのため、全従業員が正しく内容を理解した上で行動に移せるよう、階層別の研修を行いました。社長より企業理念に込められた想いや検討プロセスのほか、本質的な意味と各階層に求められる役割等についても丁寧に説明を行いました。今後も継続的に企業理念を浸透させる活動を行い、正しく業務に反映して参ります。



売上・来館者数ともに順調に推移



2023年度のコクーンシティは、行動制限緩和後の外出需要の高まりに合わせて多数のステージイベントや参加型ワークショップ等を行い、多くのお客様にご来館いただきました。また、既存店の増床・改装を含めたテナント入れ替えを実施し、新たな魅力を提案いたしました。

2023年4月には、コクーン2 おもてなしプラザ入口周辺の屋外環境をリニューアルし、お客様が自然を感じながらくつろげる空間を整備いたしました。

これらの取り組みにより、2023年8月期のコクーンシティのテナント売上高は、開業以来最高となる413億円となりました。

2024年、段階的なりニューアルを実施

コクーンシティでは、2024年春から秋頃にかけて、段階的なりニューアルを行います。

グローバルで高い認知度を誇るブランドや、大型・フラッグシップストアのほか、エリア初出店のテナントを導入予定です。

お客様の多様化するニーズを踏まえ、リアル店舗としての価値を高めるとともに、“コクーンシティならではの”独自性にこだわり、選ばれつづけるショッピングセンターとなることを目指して参ります。

今後のコクーンシティに、どうぞご期待ください。



2024年リニューアルリリース第一弾はこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000119.000024645.html>



多様なニーズに対応した積極的なイベント・施策

■ パンタスティック!!® @コクーンシティ2023 ～大好評のセレクト型パンフェス～

2023年5月26日～6月4日



パンタスティック!!®は、「パンとパンにまつわる生活の提案」をコンセプトに、人気ベーカリーをはじめ、パンにまつわる雑貨、グロッサリー、スイーツなど、日本各地の人気店を集めたセレクト型イベントです。

2023年は60店舗超が出店し、コロナ前の2019年と同規模での開催となりました。

2024年3月15日～24日に開催した

「パンタスティック!!® @コクーンシティ2024」のリリースはこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000124.000024645.html>



■ コクーンシティイルミネーション2023 ～約45万球が輝くイルミネーションイベント～

2023年11月11日～2024年2月14日



「Brilliant Promise ～光り輝く明日への約束～」をテーマに、約45万球ものシャンパンゴールドの光が輝きました。人気キャラクターや映画作品とコラボした点灯式は、多くのお客様にご観覧いただきました。



創業150周年を記念して、お客様と巨大アート作品を制作

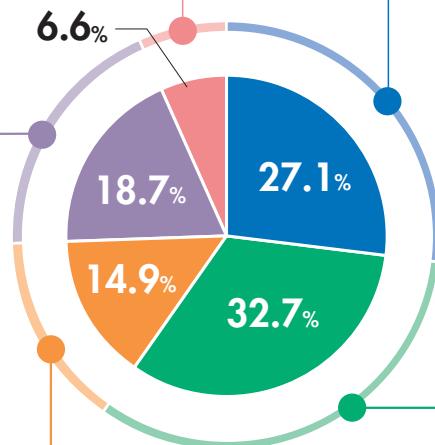
2023年に当社が創業150周年を迎えたことを記念して、日ごろよりコクーンシティをご愛顧いただいている地域の皆様に感謝を込めて、「みんなで作る巨大アート」企画を実施しました。

コクーン2外観と当社創業150周年記念ロゴを使用した絵柄には、皆様とコクーンシティが「これまでも、これからも、いっしょに。」という想いを込めました。

イベントには、当社社員も参加し、お客様とともにサンドアートを完成させました。

事業部門の概況

セグメント別売上高構成 (2023年12月期)



その他

ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売、訪花昆虫の販売等

売上高 **2,625**百万円
(前期比 +75.4%)

営業利益 **144**百万円
(前期比 △3.5%)

2023年12月期より連結子会社化した東近紙工株式会社及び株式会社カタクラ・クロステクノロジー（旧：株式会社FPGテクノロジー）の寄与により増収となりました。

繊維事業

肌着、靴下、カジュアルインナー、機能性繊維の製造・販売、ブランドライセンス業等

売上高 **7,481**百万円
(前期比 +6.2%)

営業利益 **706**百万円
(前期比 +59.3%)

繊維事業は、耐熱性繊維等の機能性繊維及び実用衣料の肌着が堅調に推移したことにより増収となりました。

機械関連事業

消防自動車の製造・販売

売上高 **5,972**百万円
(前期比 +15.1%)

営業利益 **△83**百万円
(前期比 ー%)

機械関連事業は、消防自動車事業でシャシの入庫遅れにより繰り越した案件や大型車の売上が寄与したことにより増収となりました。

不動産事業

ショッピングセンターの運営、不動産賃貸

売上高 **10,833**百万円
(前期比 +4.0%)

営業利益 **3,985**百万円
(前期比 +1.0%)

不動産事業は、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」におけるテナントからの賃料収入の増加により増収となりました。

医薬品事業

医療用医薬品の製造・販売

売上高 **13,059**百万円
(前期比 +28.9%)

営業利益 **202**百万円
(前期比 ー%)

医薬品事業は、前期の自社販売体制への商流切り替えのための一時的な販売減からの回復により増収となりました。

会社概要・株式の状況

会社概要

通称社名 カタクラ
商号 片倉工業株式会社
本社所在地 東京都中央区明石町6番4号
会社設立 1920年3月23日
資本金 18億1,729万5,000円(2023年12月31日現在)
従業員 97名(2023年12月31日現在)

役員 (2024年3月28日現在)

代表取締役社長	上甲 亮祐	常勤監査役	吉田 伸広
取締役執行役員	水澤 健一	常勤監査役	五位 潤 洋
取締役執行役員	栗原 修	社外監査役	酒井 明夫
取締役執行役員	山田 有歩	社外監査役	手島 俊裕
社外取締役	大室 康一	常務執行役員	柿本 勝博
社外取締役	桑原 道夫	執行役員	片倉 義則
社外取締役	金丸 哲也	執行役員	北橋 昭彦
社外取締役	真下 陽子		

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月下旬
基準日 定時株主総会の議決権及び
期末配当については毎年12月31日
単元株式数 100株
公告方法 当社ホームページ内の下記アドレスに掲載します。
<https://www.katakura.co.jp/ir/public/>
※やむを得ない事由により、電子公告によることが
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-8507
お問い合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324(フリーダイヤル)

特別口座に関する
事務取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店

株式の状況 (2023年12月31日現在)

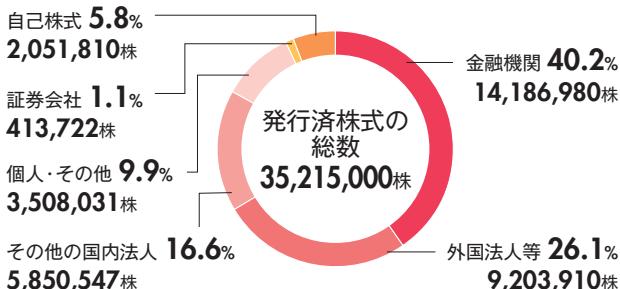
発行可能株式総数 140,000,000株
発行済株式の総数 35,215,000株
株主数 15,326名

大株主の状況 (2023年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
ASO GROUP Limited	3,490千株	10.52%
三井物産株式会社	2,200千株	6.63%
みずほ信託銀行株式会社(信託口)	2,043千株	6.16%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,862千株	5.62%
損害保険ジャパン株式会社	1,715千株	5.17%
農林中央金庫	1,690千株	5.10%
株式会社みずほ銀行	1,655千株	4.99%
大成建設株式会社	1,400千株	4.22%
明治安田生命保険相互会社	999千株	3.01%
東京建物株式会社	980千株	2.96%

(注)当社は、自己株式2,051,810株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
なお、持株比率は自己株式(2,051,810株)を控除して計算しております。
(注)持株比率は、表示単位未満の端数を四捨五入にて表示しております。

所有者別分布状況 (2023年12月31日現在)



2023年12月期株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の魅力をより多くの方々にご理解いただき、当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。2023年12月31日時点の株主名簿に記録された、当社株式を100株以上保有の株主様に、保有株式数及び保有年数に応じて優待品を贈呈いたします。2023年12月期の株主優待内容は次のとおりです。

保有株式数100株以上の
全株主様対象

選択制優待品及び寄付

1,000円相当
(100株以上 1,000株未満)

2,000円相当
(1,000株以上 3,000株未満)

4,000円相当
(3,000株以上)

オンラインショップ
「片倉の国産はちみつ専門店」で
利用できる10%OFFクーポン進呈



3年未満保有で1点／3年以上保有で2点

選択可



国産はちみつ



紳士肌着



婦人肌着



株主様御優待券
ココーンシティで
利用できます



富岡製糸場への寄付

※上記優待品は一例です。※画像はイメージです。

ご報告

株主様からお預かりした寄付金を世界文化遺産「富岡製糸場」へ贈呈いたしました。

2022年12月期の株主優待で「富岡製糸場への寄付」を選択された株主様67名から合計205,000円をお預かりし、2023年5月26日、富岡市に寄付いたしました。この寄付金は2014年12月期から累計で941名、2,613,000円となり、富岡製糸場の保全管理や今後の活動に役立てられています。ご賛同いただきました株主の皆様に、心より御礼申し上げます。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様へ、適時・適切に情報を開示しております。



「お問い合わせ・よくあるご質問」のご案内

「株式情報」「株主優待」に関するご質問等、株主様からのご関心の高いご質問につきまして、回答を掲載しております。ぜひご利用ください。



IRカレンダー

通期決算発表

第1四半期決算発表

第2四半期決算発表

第3四半期
決算発表

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

アナリスト向け
決算説明会

定時株主総会

アナリスト向け第2四半期決算説明会